

庄川左岸農地防災事業

荒又排水路河川合流口建設工事

本地区は、富山県西部の庄川左岸に形成された扇状地に高岡市外3市にまたがる稲作中心の複合経営を展開する県内でも有数の農業地帯です。国営・付帯県営事業により現在の農業用排水施設を本来有する機能に回復し、農業生産の維持及び農業経営の安定を図り、合わせて国土の保全に資することを目的としています。

本工事は、荒又排水路で放流する排水を荒又川に合流させる箇所（ボックスカルバート239m、合流口工19m）を施工するものです。工事区域周辺は地下水位が高くN値50以上の砂礫が主体のため、硬質地盤クリア工法、ウェルポイント工法等において、騒音、振動対策で近隣住民とコミュニケーションを密にしてきた地区です。工事範囲には、市道交差点、特別高圧線などがあり、監督職員と協議を重ねて施工しています。



当社としてはOSJ-CONG工法の提案により、上記工法を大幅に低減し、工事費縮減・近隣住民への騒音振動の影響を大幅に減らすことができました。

平成30年3月末時点で本体の排水路工事はおおむね完了しており、以降は護岸工、復旧工を進めています。残りの工期も監督職員の指導を賜り、無事に完成させるように職員一同一丸となって努めていきます。

監督職員からのエール

本工事は、地区内を流下する荒又川周辺地域の排水対策として新設される荒又排水路全長7.3kmのうち、最下流部の258mを施工範囲とし、あわせて荒又川への合流部を施工するものです。

本工事は、高さ2.7m、幅2.4mのボックスカルバートを設置するものですが、現場は住宅地に近接する砂礫地盤であり、地下水位も高い地域であるため、騒音・振動及び周辺地域への影響が懸念されていましたが、受注者より提案されたOSJ-CONG工法を採用することにより、最小限の影響で施工することができました。荒又川との合流部は、河川内工事のため施工期間の制限があるなど、他にも課題点も多い工事内容ではありますが、監理技術者の竹村さんには、安全で品質の良い施工にて、無事に工事が完了することを期待しています。

監督職員

(写真右) 北陸農政局庄川左岸農地防災事業所

工事第二課長 米田 浩人

4月1日より工事課長

作業所長

(写真左) アイサワ工業株式会社

高岡作業所 竹村 修

